

## 第70回「二火会」レポート

令和3年2月9日(火)開催 (開催場所：オンラインのみ)

今回は、6社のベンチャー企業によるビジネスプラン発表を行い、約100名の方々にオンラインで参加いただきました。

◆ プレゼンテーション 15:00 ~ 17:25

### ❁株式会社アマーサ 〈上天草市〉

代表取締役 四方田 徹 様

【事業名】「モリンガ栽培と産学官連携で機能性表示食品開発」

【参加目的】販路拡大

〈モリンガとは〉

1. 北インド原産でアーユルヴェーダの薬草として 3000 年以上の歴史
2. 世界中の可食植物の中でもトップクラスの栄養成分を含むスーパーフード
3. モリンガは葉・鞘(種)・茎・根、全て利用可能
4. 一般的な植物と比べ CO2 を 20 倍吸収
5. 農薬や化学肥料不使用で栽培が可能

平成 28 年に熊本県の新商品開発の助成金を受けて、機能性表示食品を崇城大学・県産業技術センター・上天草市などと産学官で取り組み、2 年半かけて「モリンガ GABA」パウダータイプを登録しました。



### ❁ふるさと熱電株式会社 〈小国町〉

代表取締役 赤石 和幸 様

【事業名】「地熱を活用した地熱発電や地域活性化事業」

【参加目的】資金調達、販路拡大・事業提携先獲、経営パートナーの獲得

2015 年から熊本県阿蘇郡小国町で地熱発電事業を地元住民とともに開発・運営を行い、約 2,000 世帯の電気を生み出しています。地熱発電は、天候や風況等に左右されず安定的に電気を作ることが可能であり、政府のエネルギー政策上も重要な電源として位置づけられています。

当社は、「ふるさとの熱を電気に、資源をカネに、地域を元気にする」ことを目指し、【地熱発電】に加え、【地域熱源を活用した新たな活動】(地元住民とともにグリーンハウス事業、温泉供給、企業研修の受け入れ、災害に強いまちづくりの活動)を展開していきます。



## ❖株式会社 SUSTAINABLE JAPAN 〈熊本市〉

代表取締役 東濱 孝明 様

【事業名】「用排水路浮遊ゴミ・マイクロプラスチックの海への流出を防ぐ新機器製造と運用」

【参加目的】資金調達、販路拡大・事業提携先獲得

海洋浮遊ゴミ回収機 Seabin(シービン)にて、海洋ゴミ回収を行うと共に Seabin を日本に普及させるための活動を行っています。

また、用水路、河川から海に流れ出す前にゴミを回収するための機器を独自に開発製造し問題解決に取り組んでいます。

両機器とも主に賃貸借契約を結び、賃貸料とゴミの回収費にて収益を上げていきます。

《社会的必要性》

熊本県では海ゴミゼロプロジェクトを立ち上げ、海洋ゴミの回収に力を入れると発表し、その会議で弊社が扱う Seabin を紹介していただきました。

熊本市は江津湖での実証実験、熊本県は海ゴミゼロプロジェクトが進められるなど、県全体で海洋ゴミに対する意識が高まっています。



## ❖バトン合同会社 〈熊本市〉

代表 荒田 晃慎 様

【事業名】「踏み間違い防止装置バトンペダル」

【参加目的】資金調達、販路拡大・事業提携先獲得

近年、高齢ドライバーによる「ペダルの踏み間違い」は大事故に繋がるケースが多いことから大きな社会問題となっています。

踏み間違い事故は、2つのペダルを文字通り「踏み間違える」ことによって生じます。そこで今回のバトンペダルはアクセルとブレーキの2つのペダルを1つにまとめて「ペダルの踏み替え」操作を不要にすることによって「踏み間違い事故」を防止・解消することを目的に開発しました。

また、踏み替えがないため、急ブレーキ時の空走距離が短縮化でき、結果として追突や衝突を避けることに繋がり劇的な安全性の向上が期待できます。



## ❖株式会社優和 〈八代市〉

代表取締役 有田 明美 様

【事業名】「親孝行代行でネット時代でも安心老後！」

【参加目的】 販路拡大・事業提携先獲得、経営パートナーの獲得

八代圏域において高齢者人口は 3 割以上になっています。更に今後益々高齢化社会となり働く世代とのバランスが崩れ、日本全体でも今後社会保障費は低迷していくと予測されています。特に行政サービスが申請制度になり、全ての情報がネット化していく中で情報から取り残されて行く人たちが増えると予測されます。そこで、社会保障(介護保険・障害福祉)に頼らず、子供にも頼らず高齢者世帯や障害者世帯が安心して住み慣れた場所で暮らすことが出来るような仕組みとしてのマッチングビジネスプランを考えました。



## ❖Kuru-Lab 株式会社 〈合志市〉

代表取締役 柏野 知亮 様

【事業名】「産学連携による IOT・AI を活用した低酸素トレーニングパッケージサービス」

【参加目的】 資金調達、販路拡大・事業提携先獲得

### ●低酸素トレーニングとは

低酸素環境下(高地)でのトレーニングは長距離ランナーなどの競技力向上に効果があり、主にトップアスリート向けに行われてきました。しかし近年では、一般向けのトレーニング方法として徐々に広がりを見せています。

### ●得られる主な効果

運動効果、ダイエット効果、美容効果などといわれており、短時間でも高い運動効果を得ることができ、30 分間の運動で通常的环境中で 90 分以上の運動を行ったものと同様の効果を得ることができます。



《次回の開催は、令和3年10月12日(火) 午後3時～(KKRホテル熊本)の予定

一般財団法人 熊本県起業化支援センター

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081-10 熊本県テクノポリスセンター内

TEL 096-287-4465 FAX 096-287-4473

URL <http://www.kmj-backup.or.jp/>